

1 研究主題

「ふるさとに学び、新たな未来を切り拓くたくましい人間を育てる中学校教育」

2 研究推進の概要

(1) 研究内容

- ① 帯広市における短期的・中長期的な中学校教育の展望に立って、経営課題を明らかにし、実践的な研修を推進する。
- ② 各学校の経営上の諸課題について交流や協議を深め、共通理解を図るとともに、自校の経営に役立てる。

(2) 研究組織

- ① 教育課程委員会・・・「社会に開かれた教育課程」の実現
- ② 学校経営委員会・・・「新たな時代に求められる資質・能力の育成と学習評価の充実」
- ③ 生徒指導委員会・・・「新たな時代に求められる資質・能力の育成と学習評価の充実」

(3) 具体的な活動

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ①帯広市校長会学校経営基礎研修Ⅰ、Ⅱの開催 | 7月25日(月)、12月26日(月) |
| ②十勝管内中高特支連絡協議会の参加・提言 | 9月5日(月) |
| ③十勝・帯広地区教育経営・法制研究会参加・提言 | 10月7日(金) 21日(金) |
| ⑤帯広市校長会学校経営研究協議会の開催 | 11月17日(木) |
| ⑥月例校長会議・研修会の開催 | |
| ⑦校長会研究紀要「教育新潮」の発行 | |

3 研究の成果と課題

(1) 成果

- ① 月例校長会議・研修会での定期的な交流（オンライン開催含む）により、各校の実状を互いに理解、共有することができ、統一感ある取組の推進や自校の改善に役立てることができた。
- ② 各種研究会でそれぞれの委員会がテーマに基づき研修を深め、研究内容の深化を図ることができた。また、提言に全会員が関わることで、校長としての資質能力の向上が図られた。

(2) 課題

- ① 包括的な学校改善を推進する中での人材育成及び更なる働き方改革への取組。
- ② アウターコロナでの教育推進計画の共有と今後の方向性。

1 研究主題

「ふるさとに学び、新たな未来を切り拓くたくましい人間を育てる中学校教育」

2 研究主題設定の趣旨

帯広市は、平成22年度から「ふるさとの風土に学び 人がきらめき 人がつながる おびひろの教育」を柱に、帯広市教育基本計画をスタートさせ、令和2年度からは新たな10年間の計画がスタートした。計画策定の視点としては、①帯広の明日を拓く力の育成、②変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成、③地域とともに育む教育の推進、④安心・安全な教育環境の整備、⑤自ら学びともに支える生涯学習の推進、⑥人が輝く文化芸術活動の推進、⑦笑顔をつなげるスポーツ活動の推進である。

帯広市校長会では、学校を取り巻く様々な社会環境や教育環境を踏まえ、人が人との関わりの中で自立し、人と人、人と自然の共生のもとに、帯広の未来を切り拓く主体者としての人間を育てることを目指し、教育課題の解決と学校や家庭、生徒の実態を的確にとらえ学校改善を図り、新しい時代（未来）の学校づくりと校長のあるべき姿を求めるため本主題を設定した。

3 研究内容

- (1) 帯広市における短期的・中長期的な中学校教育の展望に立って、経営課題を明らかにし、実践的な研修を推進する。
- (2) 各学校の経営上の諸課題について交流や協議を深め、共通理解を図るとともに自校の経営の指針に役立てる。

4 研究推進計画

- (1) 帯広市校長会学校経営基礎研修Ⅰ、Ⅱの開催 7月24日(月)、12月26日(火)
- (2) 十勝管内中高特支連絡協議会の参加・提言 9月4日(月)
- (3) 北海道中学校長会研究協議会小樽大会への参加 9月22日(金)～23日(土)
- (4) 十勝・帯広地区教育経営・法制研究会参加・提言 10月6日(金)
- (5) 帯広市校長会学校経営研究協議会の開催 11月16日(木)
- (6) 月例校長会議・研修会の開催
- (7) 校長会研究紀要「教育新潮」の発行

5 研究組織

- (1) 教育課程委員会・・・「社会に開かれた教育課程」の実現
- (2) 学校経営委員会・・・「新たな時代に求められる資質・能力の育成と学習評価の充実」
- (3) 生徒指導委員会・・・「豊かな心と健やかな体を育む教育の充実」

6 その他

- (1) 帯広市・十勝小中校長会で組織する、「とちかちスクールリーダー養成セミナー」の企画運営
- (2) 帯広市立学校における行事のあり方検討プロジェクトチーム諮問委員会との連携・協議（アフターコロナの学校運営及び教育課程の工夫について）